

令和2年度補正予算官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)
スタートアップ・エコシステム形成推進事業実施方針

令和3年2月10日
ガバニングボード決定

「官民研究開発投資拡大プログラム運用指針」(最終改訂2021年1月21日ガバニングボード決定)に基づき、令和2年度補正予算のPRISM対象施策、配分額を次のとおり定める。」

システム改革型

スタートアップ・エコシステム形成推進事業配分額: 10 億円

対象施策	概要	府省庁名	配分額(億円)
スタートアップ・エコシステム拠点形成支援	<p>スタートアップの創出を促進する拠点都市() に対して、重点分野を設けた上で、国内スタートアップの海外展開や、海外投資家・企業からの投資の呼び込みに係る事業構想策定、専門家とのマッチング、プロモーション活動の支援等を行う。</p> <p>()内閣府が実施する「Beyond Limits. Unlock Our Potential.世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」に係るスタートアップ・エコシステム拠点都市。グローバル拠点都市4拠点(東京圏、名古屋・浜松、関西圏、福岡)及び推進拠点都市4拠点(札幌、仙台、広島、北九州)。</p>	経済産業省	10

グローバル・スタートアップ・エコシステム強化事業 令和2年度予算額 13.0億円 (8.0億円)

事業の内容

事業目的・概要

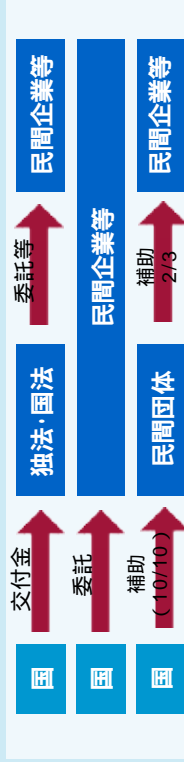
- Society5.0の実現のため、イノベーションの担い手であるスタートアップは重要な存在ですが、我が国発のユニコーン企業（創業10年未満で時価総額10億ドルを超える企業）は依然として少ない状況です。世界ではイノベーションの聖地といわれるシリコンバレーのみならず、「フレンチ・テック」を旗印に世界各国に進出するフランスや、イスラエル、中国深圳など、各国・各地域間でのスタートアップ・エコシステム競争が激化している状況です。
- 今後、第4次産業革命の下で、我が国の国際競争力の向上のため、スタートアップ・エコシステム（グローバルにインパクトを生み出す起業家やスタートアップ、イノベーション企業が自律的、連続的に生み出される仕組み）を強化し、世界で勝てるスタートアップを次々と創出することが急務です。
- 本事業では、「J-Startup」プログラムに参加する企業を含め、我が国スタートアップのニーズを的確に把握し、各フェーズに合った支援を行い、ユニコーン企業への成長を促進します。また、ユニコーン企業の創出に向け、グローバルに活躍できるイノベーターの育成やものづくりスタートアップ企業への量産化等支援を実施し、スタートアップ・エコシステムの基盤となるプレイヤー層を強化します。

J-Startupプログラム：グローバルで活躍するスタートアップを官民で集中支援する取組。

成果目標

- 2023年度までに、時価総額10億ドル以上となる、非上場企業（ユニコーン企業）または2018年度当初時点で創業10年未満（未創業も含む）であった上場企業を20社創出します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

(1) J-Startupプログラムにおける海外支援

- J-Startup企業等について、海外のスタートアップイベントへの出席をサポートするとともに、海外のイノベーション拠点に設置するハブでニーズに応じた支援（現地ネットワークとのマッチング、メンタリング等）を継続的に実施します。その際、海外の企業やスタートアップとも連携等を図り、グローバル・スタートアップ・エコシステムのさらなる強化を図ります。

(2) J-Startupプログラムにおける国内支援

- J-Startup企業等に対し一気通貫で支援する体制を構築するため、国内のVCや支援機関、さらには地方自治体や大学・研究機関が連携する「J-Startupコンソーシアム」を形成し、戦略的広報やマーケティング等の支援等をハンズオンで実施できる体制を構築します。
- ものづくり分野に挑戦するソフトウェア分野のJ-Startup企業等が、ものづくりのノウハウ等を有する支援事業者と連携し、量産化に向けた体制を構築する取組を支援することで、ものづくりスタートアップのエコシステムの構築を加速します。

(3) スタートアップ・エコシステムの基盤強化

- 起業当初よりグローバルで活動する事業モデルを構築できるようなイノベーターを育成し、スタートアップ・エコシステムの基盤を強化します。
- また、各種施策の利用促進、効果測定等のための調査等を実施し、スタートアップの成長を促進する環境を整備します。



(3) スタートアップ・エコシステムの基盤強化

スタートアップ・エコシステム形成推進事業

背景・目的

スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略（令和元年6月）に基づき、エコシステムの中核となる拠点都市を選定（令和2年7月）。エコシステム形成と成長促進、官民の投資を誘発するため、拠点都市支援のランドマーク・プログラムとして、アクセラレーション事業を経済産業省のJ-StartupへのPRISM予算の上乗せにより実施。

事業概要

選定された拠点都市で海外トップアクセラレータのプログラムを実施し、世界に羽ばたくスタートアップの育成、世界のトッププレーヤーと各拠点の支援組織の繋ぎやノウハウの移転を実施する。

世界のトップアクセラレータ

ユニコーン育成実績、トップ人材・世界のエコシステム拠点におけるコミュニティ・広いネットワーク

↓
トップ人材の派遣
プログラムノウハウの提供

プログラム実施チームの形成

マネージャー、メンター陣、連携組織の代表

↑
若手支援者等の派遣

国内の支援組織・大学

VC、アクセラレータ、金融機関、自治体・関係機関の事業担当、大学のベンチャー支援組織等

アクセラレーションプログラムの実施

- ・グローバルクラスのマネージャー・メンター陣と日本の支援人材でプログラムを実施
- ・スタートアップ等のプラン・事業を磨き上げ(セミナー、メンタリング大企業・人材とのマッチング等)
- ・DemoDay(発表イベント)の開催等

↑
公募・選定

国内の起業家、スタートアップ

グローバル展開を目指す企業、卓越した技術を有する企業、優れた研究成果の実用化を目指す研究者等

スタートアップ

海外から日本を目指す流れを形成
日本スタートアップがグローバル展開



支援組織・大学

ノウハウ形成、人材育成により支援が自走する仕組みへ

資金の流れ



期待される効果

選定された拠点都市でグローバル視点のスタートアップ育成、支援人材の交流による支援ノウハウの伝達を促進。あわせて投資の実務・契約の基本・事業展開のスピード感などエコシステムの基盤となる知見や行動様式等もグローバル水準に合わせることに貢献。